ＨＣ型荷重変換器

取扱説明書
６１

当社の荷重変換器を御買い上げ頂きまして、誠に有り難うございます。ご使用前に必ず本書を御熟読頂き正しく御活用頂くよう御願い申し上げます。

●ケーブルの接続方法

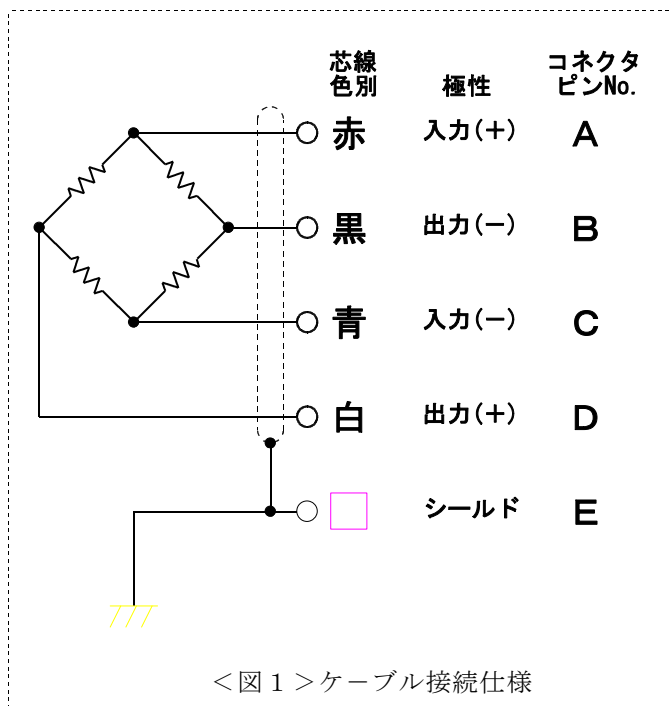
本器のケーブル接続仕様を＜図1＞に示します。

接続を間違えますと初期平衡がとれなかったり、荷重を負荷した場合の出力電圧に誤差を生じますので御注意下さい。

＜図１＞ケーブル接続仕様

●最大許容印加電圧

最大許容印加電圧 （AC／DC）	２０Ｖ
推奨使用印加電圧 （AC／DC）	１２Ｖ

＜表１＞

●取付方法と取付上の注意

本器は圧縮専用の荷重変換器です。

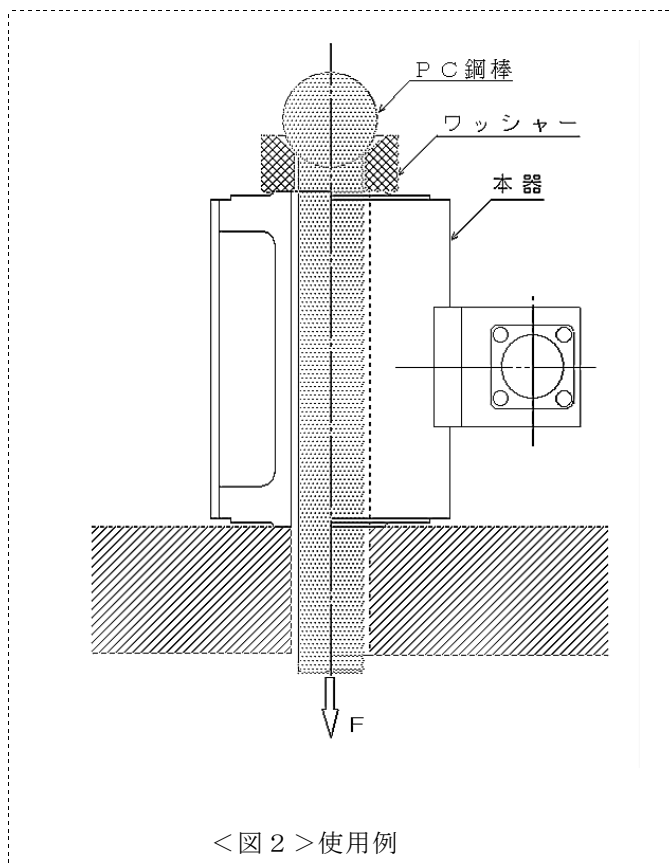
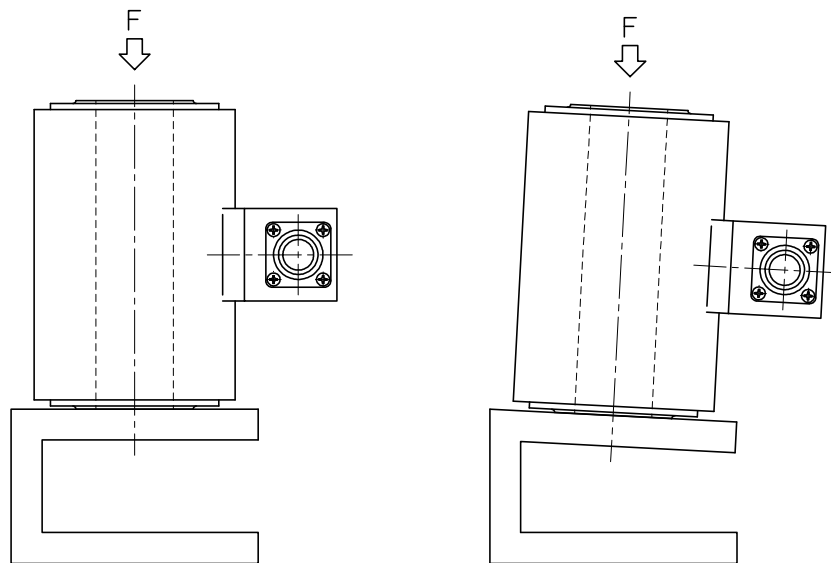
本器の受感部構造は中空円筒形であり、構造上中心軸に加わる荷重のみ検出する様になっておりますので、受圧面の状態が測定精度に影響を与えます。

受圧面の傾きがある場合は球面座金等を挟み、捩りが加わる場合はスラスト軸受等を挟んで御使用下さい。

＜図２＞はプレストレストコンクリートに用いるＰＣ鋼棒の張力測定の使用例です。

本器を取付ける所は＜図３＞の様に定格荷重を受けるのに十分な強度のある事が必要です。定格荷重が加えられたとき本器が傾いたりしないことを御確認下さい。

＜図２＞使用例

＊１．取付方法など、詳しい説明が必要な方は弊社営業所まで御連絡下さい。

＜図３＞取付例

●使用環境について

１．本器は防水構造ではありません。湿気や水の掛かる場所で使用しないで下さい。

２．ケーブルは引っ張ったり、曲げたりしますと、断線する場合がありますので注意して下さい。
また、ケーブルが動く場合は固定をして下さい。

３．温度補償範囲は

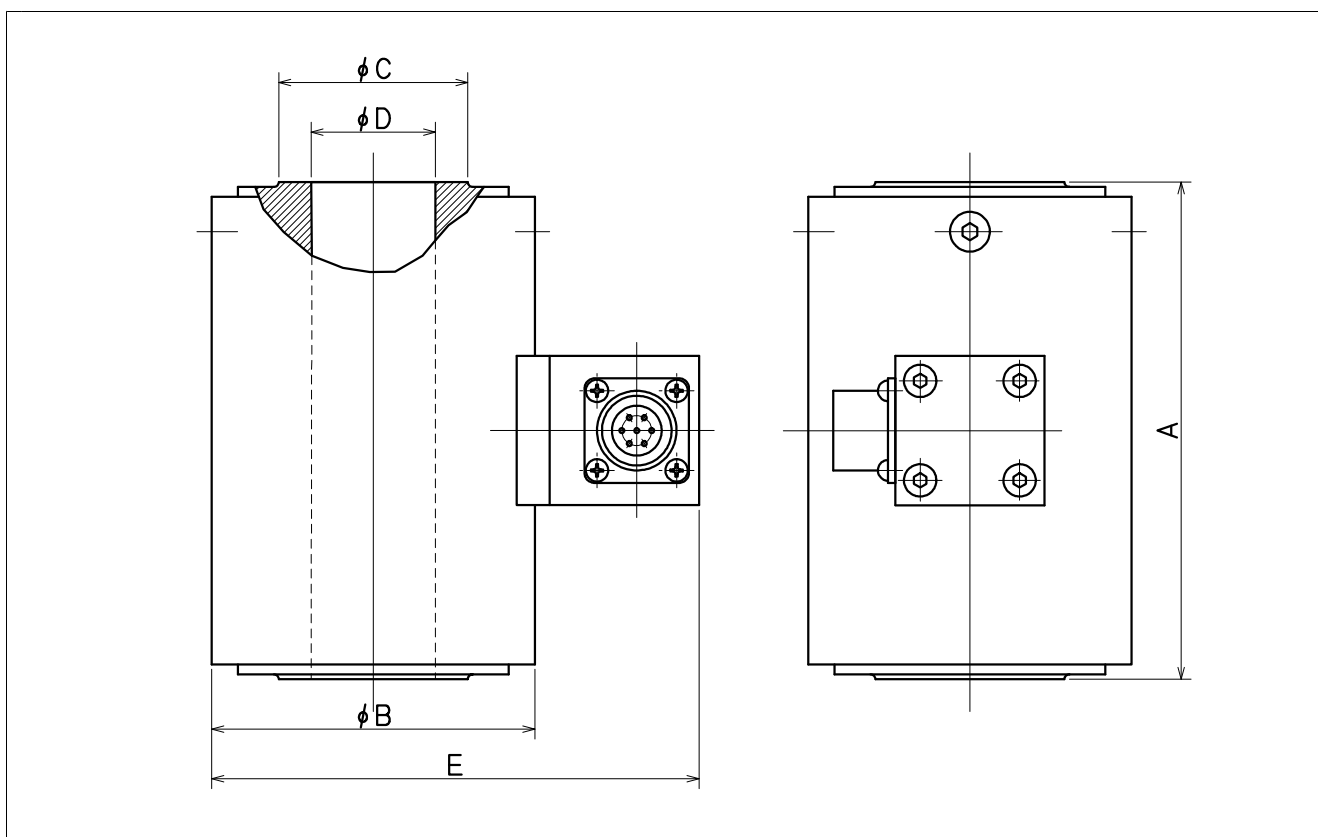
－１０～　６０℃　です。

●保守について

本器の品質を維持されるために、年一回の定期点検・校正（共に有償）を御受けられる事を御奨めします。

●保証について

本器は御買い上げ後、一年間の品質保証を行っています。正規の御使用(保証期間中)におきまして万一故障・欠陥等が発生しました場合は無償にて修理を致します。その場合には弊社営業所または御購入頂きました販売店まで御連絡を頂き、故障状況を御説明なさった上で現品を御送付して下さい。但し、お客様での誤使用・分解改造等の正規の御使用以外での場合は原則的に有償とさせて頂きます。
また、許容範囲以上の負荷(荷重・モーメント)や電圧がかかり本来の機能が復元しない場合は修理不能の場合もございますので予め御承知おき下さい。

●寸法図

●寸法表（単位：ｍｍ）

形式名	定格容量	A	B	C	D	E
HC- 10KN	10 kN	65	40	14	10	73
HC- 20KN	20 kN	75	50	20	15	83
HC- 50KN	50 kN	80	60	28	20	93
HC-100KN	100 kN	100	65	38	25	98
HC-200KN	200 kN	130	80	52	35	113
HC-500KN	500 kN	180	120	86	60	153
HC- 1MN	1 MN	240	150	118	80	183

仕様

ＴＹＰＥ	ＨＣ型荷重変換器
定格容量	１０ｋＮ～１ＭＮ
許容過負荷	１５０％（定格容量に対し）
限界過負荷	２００％（定格容量に対し）
定格出力	１．５　ｍＶ／Ｖ±１％
直線性	０．２％Ｒ．Ｏ．
ヒステリシス	０．２％Ｒ．Ｏ．
繰り返し性	０．１％Ｒ．Ｏ．
許容印加電圧	２０Ｖ，推奨１２Ｖ
入力抵抗	３５０Ω
出力抵抗	３５０Ω
温度補償範囲	－１０～６０℃
許容温度範囲	－３０～８０℃
零点の温度特性	０．０１％Ｒ．Ｏ．／℃
出力の温度特性	０．０１％／℃
先端コネクタ	ＰＲＣ０３－２１Ａ１０－７Ｆ
その他	付属ケーブル　Ｌ－Ａ－５（両端のコネクタはＰＲＣ０３－１２Ａ１０－７Ｍ）

株式会社 昭和測器

本　社　121-0812　東京都足立区西保木間1-17-16　TEL 03-3850-5431　FAX 03-3850-5436
工　場　121-0064　東京都足立区保木間5-24-27　TEL 03-3858-3241　FAX 03-3859-1240
大　阪出張所　550-0006　大阪市西区江之子島1-5-16　新三輪ビル　TEL 06-6448-3412　FAX 06-6448-0875

1996年11月　第1版　発行
2003年 7月　第3版　発行